また一つ増えた思い出
自分を励まして生きる

緑が丘A分会　猿渡ハギエ

十月十一日、三池主婦会主催の敬老会が今年も山鹿温泉の保養センターでありました。ご招待をうけて、今年も参加させてもらいましたが、楽しく、面白く、賑やかでほんとによかったです。結構な席をもうけてもらいまして、どうもありがとうございました。

残念なことには、参加されるかたが少なかったことです。ちょうど初秋の気候もよいころですから、たくさん参加してほしいと思いました。

往きのバスの中でガイドさんが温泉のマークといいますか、だ円形をした中に三本の湯煙りが昇るような絵について、三本のうちの一本は疲れをとり、二つ目はまた来年も行くことができる。三つ目は三年目も行ける。四つ目は（本当はないのですが）死ぬまで行けるのだと話をされました。

10月11日の敬老会での会食風景。中央右側が猿渡ハギエさん。

私は今年の七月下旬、夏の真っ盛りで猛烈な暑さもありましたし過労もあり、血圧も高いので、かねてから注意していたのですが、物すごい苦しみでトイレの中で倒れてしまったのです。どうやって出てきたのかわかりませんでした。

「もうこのままわが生涯の終りなのか、ガス患者の夫を残してどうして死ねるか」の必死の思いが通じたのでしょう。

ちょうどその日、二人の仲間が来ておられ、この人たちに助けられたのです。

一カ月ぐらいの時が経って「助かった。もう回復した」と思うまでになりました。

今年はそんなこともあって敬老会に参加できるかな、と思ってましたが、ご招待をうけて一日を楽しく過ごさせてもらい、「生きてよかった」と昨年と同じ思いでした。来年も、この催しに参加できるように二回も入浴して帰ってきました。

昼食の弁当のメニューも、老人に喜ばれるように作ってあり、おいしくいただきました。

演芸も、敬老者の歌と踊りも、日ごろの練習のお手並を見せていただき、のど自慢もほんとによかったです。

当日お世話くださいました平川会長をはじめ執行委員、分会の代表者の皆さんのこまめなお心配りに、心からお礼申し上げます。

敬老会は役員さんをはじめ、主婦会の会員の皆さんの暖い心尽しのたまものです。思い出がまた一つ増えました。またのご案内を楽しみにして、健康に留意して生きていかなければと自分を励ましています。

＊　＊

所得で違うサービス

（所得階層別・被扶養の一人当たりの診療費）

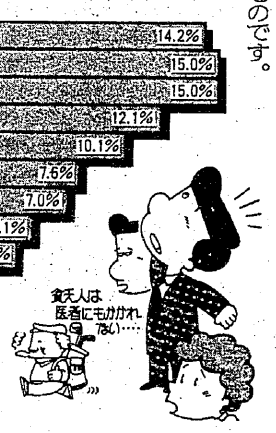
保険から医療機関に支払われた扶養家族一人当たりの診療費を見ると、所得の高い層に多く、低い層に少なくなっています。所得が低いと、医療サービスが十分にうけられないことを示しています。所得が多いのは高年齢層だから病気が多い」と厚生省は説明しますが、実際は病気に苦しみながら医者に行けない低所得の高齢者がたくさんいるのです。

グラフ解説　国民の健康と医療　②

■所得に対する自己負担医療費の割合

1979年度

50万円以下	14.2%
70 〃	15.0%
100 〃	15.0%
150 〃	12.1%
200 〃	10.1%
300 〃	7.6%
400 〃	7.0%
500 〃	5.1%
700 〃	4.3%
1,000 〃	3.7
2,000 〃	2.5
3,000 〃	1.8
5,000 〃	1.2
5,000万 円 超	0.8



資料／国税庁

十一月の園芸
やがて休眠期に

十四分会　田上　勇

寒い冬も近くなり、植物は九～十月の充実期をすぎ、休眠期を迎える準備に入っています。手入れにも気をつかい万全をつくして来春に備えましょう。

松柏・雑木類

共に活動期も終った頃です。整枝と針金はずしなどを行うと同時に、肥料も取りのぞくようにします。おそく肥料を与えたものも、月末ごろには除去します。

採光も西の方に陽が傾き、裏側には十分に当たりません。間引き、枝抜きなどの整枝がすんだら、一週間に一度鉢回しをして十分に陽を当てること。モミジのせん定はまだ葉が残っている時に切るように、また強いせん定は春に行い、今はしないように。せん定がおくれると樹液が出ます。これは樹の栄養分ですから、もったいないことです。

サツキも肥料はやめ、針金は取外し、クセが付いていなければかけ直すようにします。サツキも前記同様陽当たりを良くするために、とくにソボミの充実をはかるためにも鉢囲しをします。

消毒

十一月といえば冬期といえますが、まだ冬期には早く、陽射しが強く、新葉も今だに固まっておらず、石灰硫黄合剤の散布は薬害が起こります。葉ダニにはケルセンか、カルホス、油虫にはスミチオンなどを、葉裏に十分にかかるように散布します。

その他の手入れ

カンノン竹、シュロ竹は朝方の温度が五度以下になると三月頃まで休眠期に入ります。温室か室内に入れる準備を。光線は午前中くらい当たる個所が良く、強い直射日光は避け、とくにカンノン竹のシマカンは光線に弱いので要注意のこと。

サンセベリヤ（虎の尾）

冬期水に弱く、十二月～三月頃までは水を与えないようにします。植木鉢に植えておくと、どうしても水をやりたくなり、そして水をやらないでよいとなると、そこらにほったらかしになります。いっそのこと引き抜いて新聞などで巻いて保管したらいかがでしょう。

クンシランは十一月に寒さに二、三回当ててから保温箇所に保管するとよいといわれますが、十分気をつけて寒にやられないようにしてください。

ボケ、ヒメリンゴ、カイドウなどは新梢が伸びているものは切り取り、前記同様鉢回しし、消毒など実施してください。

ゴムの木も寒には弱く室内で結構ですが、水を少なくして乾き気味にします。

姿見

メガネとバイクと主婦会運動

東ブロック　中原千春

本年度の主婦会改選で、私は執行部の一役を担うことになった。選考委員会での話し合いで、私に、ということになった時、私などにできるはずがないと、ためらう気持の方が強かった。

しかし、ついこの間、結成三十周年の式典をやり、先輩の方々の前で〝この誇りを胸に〟たたかい続けることを誓い合ったばかりである。

「頑張ろう」が口先だけになってはならないと自分自身を〝しった〟しながら、誰かがやらなければならないことだから、弱音など吐かずに引き受けようと覚悟を決めた。でもそれと同時に、私はメガネとバイク購入の必要に迫られた近所のメガネ屋さんで検眼してもらい、生まれて初めてのメガネを置ってきた。

また、会社の非人間的な低賃金による生活費の不足を補うため、この二十年来、すしや饅頭の店をやっている私には、朝三時か四時ら起床という忙しい毎日が続いている。なのに最も必要とする自動車やバイクに乗れず、もっぱらバス買わざるべきかと、今まさにハムレットの心境の私なのである。

私は今年の七月下旬、夏の真っ盛りで猛烈な暑さもありましたし過労もあり、血圧も高いので、かねてから注意していたのですが、物すごい苦しみでトイレの中で倒れてしまったのです。どうやって出てきたのかわかりませんでした。

「もうこのままわが生涯の終りなのか、ガス患者の夫を残してどうして死ねるか」の必死の思いが通じたのでしょう。

ちょうどその日、二人の仲間が来ておられ、この人たちに助けられたのです。

一カ月ぐらいの時が経って「助かった。もう回復した」と思うまでになりました。

今年はそんなこともあって敬老会に参加できるかな、と思ってましたが、ご招待をうけて一日を楽しく過ごさせてもらい、「生きてよかった」と昨年と同じ思いでした。来年も、この催しに参加できるように二回も入浴して帰ってきました。

昼食の弁当のメニューも、老人に喜ばれるように作ってあり、おいしくいただきました。

演芸も、敬老者の歌と踊りも、日ごろの練習のお手並を見せていただき、のど自慢もほんとによかったです。

当日お世話くださいました平川会長をはじめ執行委員、分会の代表者の皆さんのこまめなお心配りに、心からお礼申し上げます。

敬老会は役員さんをはじめ、主婦会の会員の皆さんの暖い心尽しのたまものです。思い出がまた一つ増えました。またのご案内を楽しみにして、健康に留意して生きていかなければと自分を励ましています。

＊　＊

囲碁大会で好成績

十月十日午前九時から、荒尾労働会館で荒尾地評囲碁・将棋大会が開かれ、三池労組関係ではつぎの成績をおさめました。

A級三位　金子八郎（O　B）
B級二位　沖克太郎（十五分会）
C級三位　黒田　定（十六分会）

続いて十月十六日（日）、熊本市全逓会館で県大会が開かれ、荒地評はつぎの成績をおさめました。

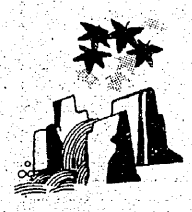
個人優勝　出口　正孝（教組）　個人、団体優勝者は十一月十一、
団体優勝　井口　勝吉（三池）　十二日熱海で開かれる総評主催の
谷崎　千守（三池）　第二十一回囲碁・将棋大会に出場
林　香（教組）　されます。

秋季囲碁大会のお知らせ

とき　十一月十三日（日）午前九時から
ところ　組合事務所会議室
。囲碁愛好会以外の人も、ふるって参加ください。

十一月のことわざ

○…霜月。三日の文化の日が過ぎると、八日は早くも立冬です。十五日は七五三。晴れ着を着た子供たちのお宮まいり。成長を願う行事ですが、商業主義におおられて、あまり華美にはしるのは考えもの。二十三日は勤労感謝の日。この日は、また「小雪」でもありますが、なお十九日は北信濃の童心の詩人、小林一茶（一七六三～一八二七）の一茶忌。

○…十一月の天気は、前半は暖かな晴天が続きますが、後半は変わりやすくなり、西日本中心に気温が低くなります。気温は、北日本では平年並み、他の地方は平年並みかやや低目となります。降水量は、北日本は平年並みかやや少く、その他の地方では平年並みかやや多いでしょう。

○…暮れをひかえて、あわただしくなるころ。火の始末に気をつけて。とくにタバコの火の不始末は、火災の原因としては放火に次ぐ第二位。灰皿にも注意を。ガラスやプラスチックなどを避け、陶器や金属の熱に強いものを選びましょう。